

令和7年度第3回あきる野市図書館協議会 会議録（抄録）

- 1 日 時 令和8年3月30日（月）午後2時～2時45分
- 2 会 場 あきる野市中央図書館2階会議室
- 3 出席者 委 員：永曾委員、古城委員、海老沢委員、毛利委員、
三池委員
事務局：遠藤生涯学習担当部長、青木図書館長、向笠庶務係長、
君島中央図書館係長、古川東部図書館エル係長、大貫五
日市図書館課長補佐
- 4 議事
 - （1）令和8年度図書館事業計画（案）について
 - （2）令和8年度予算の概要について
 - （3）令和7年度利用者アンケートの集計結果について
 - （4）その他

開会 <図書館長、進行>

- ・会議の成立についての確認（図書館協議会運営規則第4条に基づく）
- ・会議録はホームページ等で公開する。

挨拶 <議長欠席のため副議長>

<生涯学習担当部長>

資料の確認

議事（以下、副議長進行）

- ・傍聴希望者4人の傍聴を許可する。

(1) 令和7年度図書館事業計画(案)について

○ 事務局説明(館長)

前回の第2回図書館協議会において令和8年度の図書館事業計画の施策目標及び重点事業をご検討、承認いただいた。これを踏まえ、「令和8年度図書館事業計画(案)」を作成したので、本日、今協議会の承認を求めるものである。

○ 事務局説明(庶務係長)

配付資料「令和8年度図書館事業計画(案)」により重点事業を説明。

まず(1)図書館運営の充実では、令和7年度にオープンしたフレア五日市について、事前予約本の受取り場所を新たに開設し、図書館利用者のサービス向上を図ることを追加した。

次に(2)図書館施設・設備の充実について。

Wi-Fiスポットについては、来年度においても、予算の計上までは行かなかったため、引き続き設置に向けた取組を進めていく。

次に(3)子ども読書活動の推進について。

ここでは、「一日子ども図書館長」事業や「子ども司書」事業について好評だったので、小・中学生を対象に、継続して実施する。

(4) デジタルアーカイブに関しては、今年度と同様、着実に進めていく。

(5) 図書館活用の推進では、レファレンスサービスや点字図書をはじめ、障がい者サービス機器の提供など様々な図書館の機能を周知し、活用を促進する。なお、レファレンス講座については、今年度と同じく2回の実施を予定している。

最後に 新たに加えた部分の(6)中央図書館開館20周年事業は、令和9年8月に開館20周年を迎えることから、多くの市民や利用者から愛される中央館として、より愛着を持っていただけるよう、周年事業の実施について検討をはじめめる。

この事業計画の内容は、基本的に変えることはないが、日程は変更することがあるので、ご承知を。

○ 補足(館長)

(1)について、昨年度オープンした武蔵五日市駅前にある「フレア五日市」は、年中無休となっており、朝9時から夜10時までカウンターで受取が可能となる。なお、返却については、駅前にある返却ボックスにて今まで通り行う。

新年度になったらシステムの改修に取りかかり、7月頃の利用に向けて、なるべく早く運用開始したいと考えている。

次に(2)について、中央図書館では、令和7年度に照明のLED化工事を実施した。その効果もあり、電気料について削減することができるようになった。

今後は、東部図書館エルや中央図書館の裏にある立体駐車場についてもLED化を行って行きたいと考えている。

五日市図書館をはじめ、東部図書館エルや中央図書館についても建設から約20年が経過しており、年々修繕箇所も増えてきているので、定期的に点検等を実施し、利用者に快適なサービスが利用できるように対応していく。

(5)について、今まで無償でボランティア団体をお願いしていた視覚障害者向けの音訳資料作成について、令和8年度から予算化することができたので、資料の充実化を図り、サービスの拡充についても推進していきたいと考えている。

最後に(6)について、協議会委員からもアイデアをいただきながら進めていきたいと考えている。

○ 質 疑

委 員 フレア五日市で図書館の貸出サービスをするということは、そのためのスペースを作って、図書館の職員が対応するのか。

館 長 現在、フレア五日市の窓口は、市の移住・定住担当と、観光協会が担当している。この窓口を利用するため、図書館の職員は配置しない。

副議長 他に質問はないか。ないようなので、令和8年度の重点事業について報告として承る。

「令和8年度図書館事業計画(案)」について承認することに異議はないか。

(委員からの異議なし)

副議長 本件について承認とする。

(2) 令和8年度予算の概要について

○ 事務局説明（庶務係長）

配付資料「令和8年度予算の概要について」により説明

令和8年度の図書館関係の当初予算の合計は、229,916,000円で、令和7年度と比較し10,282,000円の増額となった。

主な理由として増加分については、中央図書館では、照明設備のLED化に伴うリース料金、フレア五日市において、よやく本の受取場所を増設するためのシステム改修費用等、また、各館に勤務しております会計年度任用職員に関する経費、及び、人件費の高騰による各種委託料の増額である。

減少分については、中央図書館運営管理経費の図書等購入費、また、5年間の契約が終了し、機器の更新を行わず、1年間の再リースに移行した中央図書館の自動出納書庫管理用パソコン借上料、及び東部図書館エルの複写機借上料などとなっている。

○ 質 疑

委 員 中央図書館運営管理経費で図書購入費が1,858,000円減額となっている。

資料費は図書館の生命線なので、何とか頑張って欲しい。

事務局 最後まで、図書購入費には手を付けたくなかったが、限られた予算枠の中でやむなく減額に至った。全体のバランスを見ながら、利用者の希望に沿った図書資料を購入できるよう考えている。

副議長 他に質問はないか。ないようなので、令和8年度予算の概要について承認することに異議はないか。

（委員からの異議なし）

副議長 本件について承認とする。

(3) 令和7年度利用者アンケートの集計結果について

○ 事務局説明（庶務係長）

配付資料「令和7年度利用者アンケート集計結果報告書」等により説明。調査票配布数は1,500、調査票回収数は641であった。回収率は42.7%となっている。

回答方法の内訳は、紙ベースが534、二次元コードが107であった。

○ 質 疑

委 員 アンケートは改善、改革に結びつくような内容で行うのが理想である。職種、年代、住所などの利用者データは多くあるが、図書館サービスに対する満足度のようなサービスデータが少ないように思う。このサービスデータを集めることで、どこを改善、改革しなければいけないのかが見えてくる。次回以降、少し工夫してはどうか。

事務局 検討する。

委 員 問11の「開館時間・開館日」の意見にもあるが、社会人や学生は朝早く出かけ、夜遅く帰る人も多く、休館日とも重なりなかなか利用できない人もいると思う。大変だとは思いますが、開館時間の延長などで若い人に対応できる図書館になっていただくとうれしい。そうすれば利用者も増えると思う。

委 員 回収率が低い。これを何とかできないか、当面の目標を50パーセントを超えるように設定してもらいたい。回収率が低いと、実態が反映できないので工夫してもらいたい。回答して頂いた人にしおりなどを渡すなど、何かできないものか。

事務局 検討する。

委 員 この集計結果は公表されるのか。

事務局 ホームページで公開する。

副議長 他に質問はないか。ないようなので、令和7年度利用者アンケートの集計結果について、報告として承る。

(4) その他

委 員 年間の図書館行事を広報紙などで見ていると、おはなし会がとても多く、頑張っているのがよく分かる。

これを実施するスタッフは研修を受けて行っているのか。どういう体制なのか。

事務局 中央図書館では月3回のうち、2回を図書館スタッフで、もう1回をボランティアグループをお願いをしている。

毎月ではないが、第3火曜日の施設点検日に研修を行っている。

東部図書館エルは経験が長いスタッフなので、特に研修は行っていないが、リハーサルなどで力を付けている。

五日市図書館は、職員、ボランティアグループで実施している。

五日市地区は子供の数が減っていることもあり、職員が子育てひろばに出向いて実施している事業もある。

研修については、五日市図書館も経験の長いスタッフなので行っていない。

委員
事務局

東部図書館エルの駐車場が狭くて困ることはないか。

18台分のスペースがある。土曜日、日曜日、中央図書館の休館日である金曜日、第3火曜日が混んでいる。

貸出施設の利用者は、乗合や公共交通機関を使って来館いただいていると認識している。

副議長

他にはないか。ないようなので、議事は以上で終了とする。

<以下、図書館長進行>

館長

閉会となるが、最後に何かありますか。

館長

無いようなので閉会させていただく。

閉会